

事務事業調書

平成27年度

事業No	458	課	土地改良課	係	農地整備係	起案者	岡田俊信
						決裁者	兒玉太郎
事務事業名					土地改良施設修繕事業	事業種別	施設管理

1 事業概要

総合計画体系	5 活力にみちた環境づくり 1 農業 1 農業 1 生産基盤 2 基盤整備の推進			予算科目(会計)	一般会計
				予算科目(款・項・目)	30-5-35
				総合計画以外の計画	
				関連する総合計画の施策	
				性質区分	市の内部事務事業
根拠法令	無				
法定受託事務	無				
公約・議会答弁	無				
陳情・市民要望	無				
実施方法	全部委託	委託先	民間企業		
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目	終了
求める成果(目的)	誰(受益者)が	農業者が		~になる	土地改良施設を使用できる。
事務事業の内容	農業者が効率の良い農業生産を継続できるように、土地改良施設(用水路・排水路・農道など)の破損箇所の修繕や施設の更新を行います。				
改善・対策の履歴	<ul style="list-style-type: none"> 「多面的機能支払交付金支援事業」により、簡易な土地改良施設の修繕は、各活動組織で対応することとしました。 愛知県補助金交付要件を満たす修繕工事は、できる限りこの制度を活用し、一般財源の負担を軽減していきます。但し緊急性のあるものは直ぐに対応します。 				

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	11,408	7,102	10,420	9,334	9,824
財源計	7,628	4,582	7,900	6,814	7,304
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	1	0
	一般財源	7,628	4,582	7,899	6,814
受益者負担金	0	0	1	0	1
職員人件費 (従事職員数)	3,780 (0.60)	2,520 (0.40)	2,520 (0.40)	2,520 (0.40)	2,520 (0.40)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	農業施設の維持補修	見込	10.00	10.00	10.00	10.00
			実績	13.00	10.00	12.00	
	指標名 (単位)	修繕箇所数(ヶ所)	活動の総事業費(千円)	11,408	7,102	9,334	
			活動にかかるコスト(千円)	877.54	710.20	777.83	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	修繕対応箇所/要望箇所(%)		目標	50.00	50.00	50.00	50.00
			実績	62.00	53.00	75.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成
成果2	施設管理の苦情件数(件)		目標	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急性のある施設の修繕を積極的に実施し、農作業への影響の軽減に努めました。要望のうち多面的機能の活動で対応可能なものは、地元活動組織へ依頼し、一般財源の負担軽減に努めました。 ・修繕したことにより施設全体を末長く使用することが可能となり、結果コスト縮減が図られました。 ・施設が修繕されることで、地元も維持管理に力を注いでもらっています。 ・農作物の生産性が向上しました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト		・簡易な工事は多面的機能支払交付金での地域活動で対応することとしたため、1工事当たりのコストは前年度と同程度でした。
成果		・優先順位、事業効果の高い箇所から順に修繕を実施できました。 ・緊急に対応が必要な施設修繕について、地元と連携し迅速に対応できました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<ul style="list-style-type: none"> ・要望・苦情は、速やかに対応して市民満足度の向上に努めます。 ・排水路改修等の際は、コンクリート製品の既設資材を他事業でも再利用していくよう推進します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	農業の生産基盤を維持するため、農業用施設の改良、維持修繕を行う必要があります。今後は、保水、景観など農地が持つ多面的な機能を生かすうえでも施設管理を行う必要があります。多面的機能支払交付金事業との連携を図り、地元とともに良好な施設管理を推進します。

事務事業調書

平成27年度

事業No	470	課	土地改良課	係	農地整備係	起案者	岡田俊信
						決裁者	兒玉太郎
事務事業名	農地等多面的機能促進事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	5 活にみちた環境づくり 1 農業 1 農業 1 生産基盤 2 基盤整備の推進			予算科目(会計)	一般会計			
				予算科目(款・項・目)	30-5-35			
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	有 H24.12議会本会議答弁 農地・水保全管理事業の貢献度について							
陳情・市民要望	無							
実施方法	一部委託	委託先	(土地改良団体)					
実施期間	開始	平成19年度	経過	8年目	終了	平成28年度	期間	10年
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が			~になる	農業用施設の多面的機能を楽しむ。		
事務事業の内容	農地・農業用水等の資源や農村環境の良好な保全と質的向上を図る地域活動を支援する。							
改善・対策の履歴	平成25年度より向上活動の参加団体が16団体増加し31団体となりました。また、平成26年度より農地水保全管理支払交付金が多面的機能へと制度改正されました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	37,080	63,861	76,098	74,158	269,758	
財源計	35,190	58,821	71,058	69,118	264,718	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	152	100	100	1,125	197,209
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	35,038	58,721	70,958	67,993	67,509
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	1,890 (0.30)	5,040 (0.80)	5,040 (0.80)	5,040 (0.80)	5,040 (0.80)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	活動組織に指導助言、地域協議会へ負担金の支払	見込	1.00	1.00	1.00	0.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	負担金の支払(円)	活動の総事業費 (千円)	37,080	63,861	74,158	
			活動にかかるコスト (千円)	37,080.00	63,861.00	74,158.00	
活動2	活動名 (活動内容)	活動組織に指導助言、交付金の交付	見込	0.00	0.00	0.00	1.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	交付金の交付(円)	活動の総事業費 (千円)	0	0	0	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	0.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	担い手への農地の利用集積の促進(平成27年度目標値50%) (%)			目標	48.00	49.00	50.00	50.00
				実績	49.00	50.00	52.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>農業者のみならず、非農業者が地域活動に参加することにより、地域の絆が深まります。多くの地域の人たちに、農地、農業用施設に対する理解を深めることができます。</p>
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	平成26年度より、国の制度改正に伴い、各活動団体への交付単価が増額されたため、コストが上がりました。
成果	<ul style="list-style-type: none"> 活動団体の活動範囲は農振農用地面積の9割程度をカバーしています。地域の活動により、耕作放棄地の発生の防止や農業用施設の長寿命化が図られています。 担い手の負担が軽減され、農地利用集積が促進されています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
今後とも、施設の長寿命化や地域資源保全管理に対する担い手の負担が増加しないよう活動を継続する必要があります。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	農地等の多面的機能の維持及び発揮を図るための地域活動が継続されるよう、積極的に推進します。